

# 道博協ニュース 第131号 (2022年9月30日発行)

## 第60回北海道博物館大会を終えて

2022(令和4)年7月14日(木)～15日(金)、第60回北海道博物館大会が、地元である土別市民文化センターで開催されました。本来であれば、2年前の令和2年に土別市での開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった経緯があり、2年越しでの開催となりました。今年は国・道の指導や基本的行動の励行など、感染症対策を万全に施した中での開催となりました。

1日目は、会員外も含め約100名のご参加をいただきました。開会式後の表彰式に続いて、公益財団法人日本博物館協会からの特別報告並びに国立アイヌ民族博物館からのお知らせがあり、その後、研究大会が開催されました。

今大会は「博物館がつなぐ、博物館がつながる」をテーマに、民俗芸能の伝承における地域との関わりや、他館との連携による博物館活動の可能性を探るための情報共有の場となりました。コーディネーターの舟山直治氏(北海道博物館学芸員)の進行により、東京文化財研究所の久保田裕道氏の基調講演と3件の活動報告がありました。

基調講演では、開拓者達に移入してきた特有の価値観を持つ民俗芸能が、過疎化・高齢化が進み消えつつあるなか、その存在意義などを考えつつ、どのように保護し、活用していくかについてのお話がありました。

続く活動報告では、一つ目として土別市立博物館学芸員の中村圭佑氏による「土別市における民俗芸能の伝承～日向神代神楽を事例に～」と題して、二つ目として一般社団法人舞藝舎専務理事の漢幸雄氏による「朝日地区における地域文化の伝承～朝日瑞穂獅子舞」と題して、それぞれ地域の民俗芸能伝承に向けての奮闘ぶりを報告いただき、また三つ目の報告として、富良野市博物館学芸員の泉団氏による「土別と富良野の博物館が連携した自然史展示」と題し、博物館同士の横の連携により、補足し合いながら充実した内容の博物館活動としていくという事例報告をいただきました。

2日目のエクスカージョンは、Aコースが「歩いてめぐる土別市の歴史的建造物」(案内人：義光康



博物館大会の様子



エクスカージョンの様子

弘氏・中村圭佑氏)と、Bコース「バスで行く朝日地区」(案内人：水田一彦氏・本部哲矢氏)の2コースを設け、参加者の皆様に史跡や民俗芸能を通じて土別の歴史や文化に触れていただきました。

2日間を通じて天候にも恵まれ、無事に大会を終了することができました。今大会の開催にあたり、北海道博物館協会役員や事務局の皆様はもとより、担当ブロックである道北地区博物館等連絡協議会の各館園の皆様にも、多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。また、会場地として不向き届きな点もあったかと存じますが、大会の成功に免じて何卒お許しいただけたら幸いです。

来年は恵庭市での開催が予定されています。地元恵庭市や道央地区博物館等連絡協議会の関係者の皆様のご尽力により、大会が無事に開催されますよう、お祈り申し上げます。

(北海道博物館協会理事 土別市立博物館長 大留義幸)

## 道央地区博物館等連絡協議会NEWS

## GISを用いて、地域の文化を可視化する

筆者は、大学で開講されていた「地理情報システム(GIS)論」を受講し、その知識を用いて道内の民俗芸能を研究しています。GISは、地上のあらゆる事物・事象を地図上に可視化し、情報の関係性を導き出す手法です。

大学で学んだGISを自身の研究に用いようと思ったきっかけは、学部生の頃実施した奥尻島での祭礼調査にあります。奥尻町の博物館施設「稲穂ふれあい研修センター」では、島内各地の神輿渡御や山車巡行の写真が展示されています。しかし、ほとんどの地区では担い手不足で巡行が中止され、当時の賑わいは写真でしか知ることができません。また、地名だけでは島内のどこの祭礼なのか島外の人には見当もつきません。そこで、過去から現在までの祭礼の姿や思い出をできるだけ多くの人と共有するため、場所(地図)と結び付けて表示できるGISが有効だと考えました。

調査時にGISで過去と現在のまちなみを比較できる地図を作成し聞き取り調査を行うと、記憶が鮮明に蘇り、住民同士で地域の課題を主体的に話し合う様子が見られました。災害や魅力など特定のテーマごとに証言データをGISで統合した「記憶地図」を印刷し、博物館や公民館で展示しているほか、



授賞式の様子(右から2人目が筆者)  
写真はEsri Community Webサイトより

ストーリーマップというアプリを使いデジタルでも公開しています。展示後に修正が必要な場合も、GISを使える環境さえあれば簡単に更新できるため、博物館にとっても魅力的です。

北海道南西沖地震(1993)前後の祭礼のルートと比較した研究が、GISの最大手企業Esri社が主催する「第9回 Esri Young Scholars Award」で日本の応募者の中から最優秀作品に選ばれ、2022年7月に米国のサンディエゴで開催された授賞式に参加しました。GISを使った研究事例は自然科学系に集中していますが、現地でスミソニアン博物館がストーリーマップで展示紹介を行った講演が印象的で、とても勇気づけられました。今後、当館でも地域文化の伝承やアーカイブなどにGISを積極的に導入していくつもりです。

(小樽市総合博物館 蟬塚咲衣)

## 道南ブロック博物館施設等連絡協議会NEWS

## 総会および研修会を開催しました

令和4年6月24日(金)、厚沢部町町民交流センター「あゆみ」にて道南ブロック博物館施設等連絡協議会総会および研修会を開催しました。

総会では令和3年度に実施した事業等の報告と令和4年度の事業計画・予算の承認を行いました。

その後の研修会では、株式会社ノイエ代表の熊谷淳一氏を講師に迎え、「集客できるチラシ・ポスターと展示パネルのデザイン」をテーマに講義とグループワークを行いました。4人ほどのグループに分かれ、各施設で作成したチラシの相互評価を行った後、マーケティングにおける重要な要素や、コピー(広告文)とデザインの基本技術について学びました。その知識をもとに、各施設のチラシの改善点をグループごとに話し合って発表し、熊谷氏からの添削を受けました。



研修会の様子

チラシの添削では、熊谷氏と発表者およびチラシ作成者との質疑応答を通して、伝えたい内容や魅力を確認しながら、それを活かすための写真や絵の入れ方、掲載する情報、表現の方法を見直しました。例えば子ども向けのイベントでは、興味をひくようなタイトル、わかりやすい言葉での説



明、内容を想像しやすい写真の掲載など子どもに対するアプローチのほか、子どもと一緒になにかをしたい、子どもになにかを教えたいという親の要望をくみ取って提示することも効果的であるというお話がありました。

伝えたい人をしぼり、伝えたいことが届くような見せ方について具体例を通して学ぶと同時に、各施設が用いている表現の仕方を知る機会となり

ました。近い内容の催しであっても施設によって特色があり、それを突きつめることで独自の魅力をわかりやすく伝えられることを実感しました。それぞれの施設に合わせて実践することで、特色や魅力をより深く掘り下げることができるとともに、集客につながるような充実した研修会となりました。

(八雲町教育委員会 地域おこし協力隊 半田幸)

## 日胆地区博物館等連絡協議会NEWS

### 久々の対面開催～ 令和4年度総会・研修会行われる

令和4年5月25日、白老町コミュニティセンターを会場に、日胆地区博物館等連絡協議会の総会と研修会が行われました。ここ2年、新型コロナウイルス感染症によって書面会議や中止が続いていたため、約3年ぶりの対面開催となりました。

総会では、令和3年度の事業・決算報告、並びに令和4年度の事業計画・予算協議をいたしました。概ね原案通り承認されましたが、令和9年度に予定している当協議会30周年記念事業について、検討を開始することを確認しました。ここ数年、学芸員や事務職員の交代が見られますが、新旧メンバーが互いにアイデアを出し合い、多くの人たちが博物館に興味を持っていただくような内容につながればと考えています。

午後からは、「作品撮影における光のコントロール」と題し、日本広告写真家協会の大滝恭昌先生を講師にお迎えし、研修会を行いました。私達学芸員は、様々な場面で写真撮影を行うことから、多くの参加者が期待感をもって研修に向き合いました。シャッタースピードや絞りの調整といった基本的なカメラの扱いをはじめ、被写体に対する光の当て方によって全く印象が変わることを学びました。資料や作品に対する思いが写真に現れること知り、写真撮影は単に撮るだけではなく、「描



くもの」という認識を持ったところです。

約3年ぶりの対面形式の研修会とあって、皆さん生き活きと意見を取り交わしながら有意義な時間を共有していました。まだコロナの状況が予断を許しませんが、できる範囲で会員の「思いを感じ」ながら、情報交換や技術向上を高めることが大切と感じています。

(新冠町郷土資料館 新川剛生)

## 道北地区博物館等連絡協議会NEWS

### 第29回道北地区博物館等連絡協議会巡回展 「アイヌ語地名と北海道」展開催

北海道の地名の多くはアイヌ語に由来しており、そのアイヌ語の地名にはその場所それぞれの自然や環境・歴史、アイヌの人々の自然観やくらしのありさまなどが反映されています。今回、それら

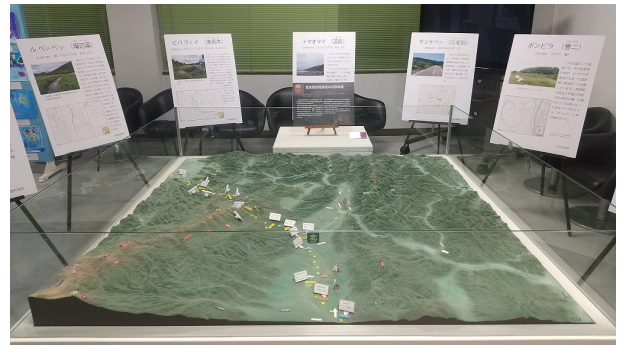
の地名の由来を多くの人に知ってもらい、アイヌ語地名についての興味を高めるとともに、アイヌ文化への関心や郷土の歴史について理解を深める契機としたいと考え、今年度の巡回展を「アイヌ語地名と北海道」展として開催することといたしました。

今回の巡回展では、道北地域の巡回展開催館か

ら紹介したい地名について、その地名に関する写真や地図などのほか、キャプションデータなどの提供の協力も得ながら解説パネルを作製し進めました。

巡回展の準備にあたっては、例年展示パネル等一式を用意して、開催地を巡回するという形をとっていましたが、館の広さや展示方法等を考慮し、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、展示パネルのデータ(DVDディスク)のみを郵送等12館の実情に合わせて実施する方法をとることにいたしました。

今回の開催においては展示パネル等一式は2組作成し、1組は、苫前町郷土資料館(8/6)、苫前町公民館(8/7～9/3)、中川町生涯学習センター「ちやいむ」(10/8～11/8)、美深町文化会館COM100(11/17～11/30)を、もう1組は上富良野町(新型コロナウイ



富良野市博物館にて開催時の様子

ルスまん延防止措置の為開催できず)、丘のまち郷土学館「美宙」(美瑛町)(10/6～10/25)、富良野市博物館(11/3～2/28)を順に巡回して展示を行ったほか、データでの巡回は礼文町町民活動総合センター(8/2～8/27)にて開催しました。

(旭川市博物館 似里ひとみ)

#### オホーツク管内博物館連絡協議会NEWS

##### オホーツク管内博物館連絡協議会研修会を開催『博物館網走監獄40周年スペシャルイベント』

博物館網走監獄で、令和4年7月3日(日)「博物館開館40周年イベントジャズピアニスト山下洋輔トーク&ライブ」を開催し併せてオホーツク管内博物館連絡協議会研修会を行いました。

会場は、博物館内「教誨堂」の舞台を活用していました。山下洋輔氏に教誨堂の舞台で演奏をお願いした理由は、40周年企画展「近代監獄の誕生と建築家山下啓次郎」展を開催中であり、明治の五大監獄の設計者である山下啓次郎氏のお孫さんにあたる洋輔氏を招聘し、祖父啓次郎氏の魅力や思い出を語って頂くこと、啓次郎氏の設計図が、網走監獄教誨堂にも踏襲されていますので、その建物の中でお孫さんの洋輔氏に演奏してもらうことが目的でした。教誨堂は、実際に網走刑務所で使用されていた場所であり重要文化財に指定されています。

参加者は、抽選で当選した鹿児島、松本と全国各地から熱烈なファンの方が山下氏の演奏を聞きに集まり、総勢250名となりました。会場はライブ開始と同時に熱気にあふれていました。

洋輔氏は、コンサートでサマータイム等10曲を演奏され、「会場の皆様の温かい拍手で気持ちよく演奏出来、また祖父啓次郎の設計したものが、網



山下洋輔氏ピアノ演奏

走監獄の建造物にも反映されていて感慨深いです」と話されておりました。博物館網走監獄開館40周年のイベントは市民の皆様、博物館を支えて下さった皆様への感謝の気持ちで開催したイベントでしたが、参加者の皆様からも、「大変素晴らしい演奏を聞かせてもらいました」というお声を頂き主催者としても重要文化財建造物での開催ということで制約のある中、コロナ禍の中で無事に開催することができ安堵しております。今後も、重要文化財を保存公開する博物館として文化財を活用した普及活動に取り組んでまいります。研修会開催にあたりオホーツク管内博物館連絡協議会会員の皆様にもご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

(博物館網走監獄 副館長 今野久代)



## 道東3管内博物館施設等連絡協議会 NEWS

## 釧路市立博物館企画展「湿原の王国・道東」

釧路市立博物館では、道東3管内博物館施設等連絡協議会の後援で、企画展「湿原の王国・道東」を10月16日まで開催しています。本企画展は霧多布湿原（霧多布泥炭形成植物群落）の国天然記念物指定100年を記念して開催したもので、道東3管内地域、特に釧路・根室に多くある大小さまざまな湿原を紹介しています。

道東地域は気候が冷涼すぎて牧草以外の農作物の栽培に適さないため湿原の開発が遅れ、結果的に現在でも湿原が多く残っています。各湿原の面積、形成過程、そこで観られる動植物や景観はさまざまで、ひとつとして同じものはありません。湿原を身近に感じ、貴重な環境であることを知ってもらうことを展示の目標としたため、興味を持った人が訪れられるように、景勝地として木道などが整備され、一般の人でも訪れることができる湿原を取り上げました。また、湿原の成り立ちや種類の解説のほか、湿原の利用や天然のダム機能、湿原の地下にある泥炭への炭素固定機能など、人の生活に役立っていることも紹介しました。

開催にあたって、道東3管内博物館施設等連絡協議会加盟館園から各地の湿原の写真をご提供いた



博物館の展示のようす

いただきました。地元だからこそ撮れる湿原の美しい写真を展示に使用することで、湿原の魅力発信につながったと考えています。

道東3管内博物館施設等連絡協議会総会で企画展後援について説明した際に、巡回展にできないかという提案をいただいたことから、パネル展として巡回できるような展示構成にしました。また、博物館の展示をかみ砕いてコンパクトにまとめたサテライトパネル展を、市内の商業施設で開催しました。具体的なスケジュールはこれからの調整となりますが、パネル展として巡回したいと考えています。

(釧路市立博物館 加藤ゆき恵)

## 日本動物園水族館協会北海道ブロック NEWS

動物園・水族館による  
共同プロジェクトが始動

日本動物園水族館協会（JAZA）に加盟する北海道内の8つの動物園・水族館では、北海道に生息する野生生物の保全や自然保護に共同で取り組む「北海道産いきもの保全プロジェクト」を立ち上げ、園館長が出席した記者発表会を2022年4月19日に円山動物園で開催しました。

8園館は、これまで傷病鳥獣の受入れや飼育動物の繁殖などで連携・協力してきましたが、本プロジェクトでは、各園館単独では実施が難しかった北海道に生息する野生生物の保全活動などに共同で取り組むものです。本プロジェクトは、旭山動物園の坂東園長の呼びかけに、円山動物園、おびひろ動物園、釧路市動物園、小樽水族館、サンピアザ水族館、登別マリパークニクス、サケのふるさと千歳水族館が賛同し実現に至りました。



合同記者発表に出席した園館長

本プロジェクトでは、道内の野生生物の域外・域内保全に関する活動をはじめ、野生生物の保全に関する調査研究、野生動物の生態や自然保護に関する教育普及啓発、職員の相互研修や施設の相互活用など様々な取組を予定しています。

7月8日～9日に円山動物園で開催されたJAZA北

海道地区園館長会議では、本プロジェクトの今後の活動内容についても協議を行い、共同調査の実施や巡回展の開催など、各園館の強みや特長を生かした取組を相互に連携を図りながら進めていくことを確認しました。

8園館は、本プロジェクトを通じて、北海道の豊かな自然環境を守っていくため、北海道に生息する野生生物の域内・域外保全活動や自然保護活動にこれからも積極的に取り組んでいきます。  
(札幌市環境局円山動物園 経営管理課経営係長 藤崎友裕)

## 学芸職員部会 NEWS

### 図書館に“学芸員の本棚”が出現！

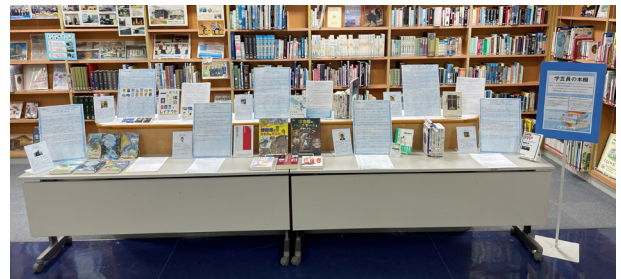
コロナ禍をきっかけに始まった毎月のオンライン研修会。1月はビブリオバトル風に、8人の学芸員によるオススメ本紹介でした。1人3分間のライブ配信トークは、図書の紹介をベースに、博物館の舞台裏から学芸員になったワケまで、普段は聞けない話ばかり。しかもギュッとコンパクトにまとまっている。これはライブで流れて消えるだけでは惜しい！ということで、石狩市民図書館に閲覧室でのパネル展示化を持ちかけました。(志賀)

展示期間は5月の連休を挟んだ2週間。各学芸員が紹介した本に加え、博物館や学芸員に関する本も合わせて設置しました。

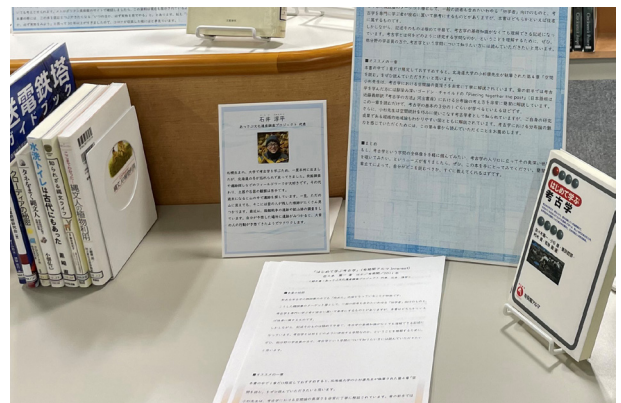
そして悩んだのが、どのように来館者に興味を持ってもらうかということでした。メインである図書紹介文をパネルにするとA3でも文字でぎっしりになるため、その場で全員分目を通してもらうのは難しいのではないかと…。結果、パネルと配付用プリント両方を設置することにしました。

今回イチオシだったのは、学芸員の顔写真をつけたプロフィールパネルです。1人につき小さなパネル1枚ですが、不思議なものでこれがあるだけで一気に学芸員に対し親近感がわくのです。実際、老若男女問わずふと足を止めて、本を借りるだけでなくパネルの文を読んでいる人も多く見かけました。

本はどれも早い段階で借りられていき、学芸員になるためには？博物館とは？という内容のものも開始早々借りられたところを見ると、博物館に



閲覧室に出現した学芸員の本棚



関連図書と、学芸員の顔入りプロフィールも

対する来館者の興味関心の高さが窺えました。学芸員の姿や仕事について、広く知ってもらえたのではないかと感じています。

今後、図書館側からもこういった連携の声かけが広まれば、よりいい循環が生まれると思っています。図書館は広く情報を扱う施設であり、特に資料・標本を扱う博物館との連携は、“知の融合”という意味でも特に相性が良いと再確認する良い機会となりました。(吉岡)

(石狩市民図書館 司書 吉岡律子)

(いしかり砂丘の風資料館 学芸員 志賀健司)

## 北海道青少年科学館連絡協議会 NEWS

### With コロナと前に進む科学館

コロナ禍で全国の科学館ではハンズオン展示や実演の休止、事業の縮小など制約を受けてきたが、一方で新しい方法を試行錯誤し、コロナ前とは違っ

た新しい企画や手法の事業が生まれてきていることに注目したい。

例えば、錯視やセンサーをテーマにした特別展の開催や、スマートフォンによるARを活用した取り組みといった職員の実演や解説がなくても非接触・非対面で楽しめるような企画をするなど、制



約を逆手に取った取り組みがたくさん生まれた。

その中でも全国的に大きな潮流となったのはオンラインでの取り組みだ。物理的な距離と関係なく、道外の講師がオンラインで登壇したり、遠く離れた海外の人たちも配信を視聴できたりするようになった。当館では、緊急事態宣言下で児童が館に来ることも職員が学校に出向くこともできない時期にオンライン授業を行ったところ、学校側からは好評だった。感染症の状況によらずオンラインの取り組みは今後も続いていくのではないだろうか。

逆に、コロナ前には思いつかなかった気づきを得ることもある。

例えば、不特定多数の人を対象にした体験型イベントや教育普及プログラムは人気が高いものの、コロナ禍で中止となるケースが多かった。一方、事前に参加者を募集するケースでは、定員は減らさなければならなかったが、参加者からは落ち着

いて体験できてよかった、出展者からもプログラムを充実させることができたという満足度が見られた。これまでは、数をこなすために体験内容を短時間でできるようなものにしなければならないという制約があったが、参加者を制限することによって家族で協力して行うような難易度が高いプログラムを行えるようになるなど、事業の質が高まった側面もある。今までは「数」による事業評価が重視されてきたが、今後は「質」も含めた評価が求められるのではないかと。

With コロナの時代、科学館の事業内容や開催方法、運営はさらに変わっていくだろう。しかし、私達科学館のミッションは不変であり、時代の変化に応じて知恵を絞った事業を提供していきたい。どんな時も前に進んでいくために、情報交換し支えあえる科学館・博物館同志のネットワークの重要性が今まで以上に高まっていると言える。

(札幌市青少年科学館 木野 翠)

## 北海道美術館学芸員研究協議会 NEWS

### お客さんが戻ってきた、のかも知れないが…

「すごいですね！よかったですね」。この夏、何人ものミュージアム関係者からそんな言葉をいただいた。筆者が勤務する北海道立近代美術館(札幌)で、春の「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」、夏の「古代エジプト展」が、いずれも10万人を超える来場者を迎えたことに対して、である。

コロナ禍が始まって3年目。その間、社会活動に厳しい抑制や自粛が生じた時期でも、手をこまねいていた館は一つもない。しかし、コロナ対応が変化していった時、利用者はどのタイミングで戻ってくるのか、見通せない不安を抱いていた関係者は多かったはずだ。それゆえに10万人越えの数字は、ミュージアムに向かう人の流れが本格的に再開した証と受け止められたのではないかと。そうした手応えと安堵を分かち合う心が、上記の言葉に込められていたと感じる。感謝の気持ちをお返しして、ともに喜びたい。

さて、フェルメールもエジプトも地元のマスコミと組んで、コロナ前から開催を予定していたものだ。大都市圏限定で営業的に成り立つブロックバスター型の展示会だが、実はフェルメールが始まってひと月過ぎるくらいまでは、この手の展示会を新たに成立させるのはもう無理かもしれない



「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」会場  
(北海道立近代美術館)

という悲観論が美術館にはあった。今回の結果はウィズ・コロナであってもなお、札幌においては大規模展がビジネスモデルとして有効であることを証明した、とも言える。筆者は今、あらためて北海道における海外美術展実現への希望の一方、コロナなどなかったことになるのではという懸念を覚えている。

そういえば当館が誇るコレクション「エコール・ド・パリの美術」が高揚したのは1920年代。世界で推定1億人以上の命を奪ったスペイン風邪の流行が終息し、後に「狂乱時代」と呼ばれたほど浮かれムードのパリにおいてであった。ファシズムと戦争がそれに続いたのだ。

(北海道立近代美術館 学芸副館長 中村聖司)

## イベント情報

会員館園の主な企画展と普及行事等 2022年10月～2023年3月

詳細は各館園にお問い合わせください

## 石狩

## 北海道博物館(011-898-0456)

|   |   |
|---|---|
| 9/10, 10/1, 10/22, 11/12, 12/3, 12/24             | ちゃれんが古文書クラブ(全12回)第7回～第12回                   |
| 9/18  | 子どもワークショップ「糸電話・風船電話で、もしもし コンニチハ」            |
| 9/24  | 自然観察会「木の実・草の実の不思議をさがそう」                     |
| 9/25  | ミュージアムカレッジ『『民族音楽学』入門』                       |
| 10/16   | 子どもワークショップ「親子で探検! 森のコレクションをつくろう」            |
| 10/29～2023/1/15                                   | 蔵出し展「久保寺逸彦文庫—アイヌ文学研究者による調査と資料をとおして、時代をさぐる—」 |
| 10/30   | 特別イベント「アイヌ音楽ライブ マレウレウコンサート」                 |
| 11/6, 11/27, 12/4                                 | 蔵出し展関連 連続講座「久保寺逸彦文庫を見る/読む/聞く」①～③            |
| 11/20   | ミュージアムカレッジ「インターネットを使ったアイヌ語学習」               |
| 11/26   | 子どもワークショップ「稲わらで縄をつくって、巨大人間あやとりに挑戦!」         |
| 12/10   | 子どもワークショップ「北広島市でみつけた貝の化石で標本をつくろう!」          |
| 12/11, 12/25, 2023/1/8, 1/22                      | アイヌ語講座(全4回)                                 |
| 12/17   | ミュージアムカレッジ「アイヌの英雄叙事詩を聞く—うたと言葉」              |
| 12/18   | ちゃれんがワークショップ「博物館で新年祈願!? 日本の画材で絵馬づくり」        |
| 2023/1/14   | ミュージアムカレッジ「ハレの日の装い」                         |
| 2023/1/15   | ミュージアムカレッジ「映画上映会 あるカメラ愛好家が撮影した戦前・戦後の札幌」     |
| 2023/1/21   | 子どもワークショップ「博物館のなかで宝さがし」                     |
| 2023/1/28, 2/4, 2/11, 2/18, 2/25, 3/4, 3/11, 3/25 | はじめての古文書講座(全8回)                             |
| 2023/1/29   | 特別イベント「博物館のウラ側を見てみよう」                       |
| 2023/2/12   | ミュージアムカレッジ「北海道における養蚕業とそれにまつわる建物のかたち」        |
| 2023/2/25～5/28                                    | 企画テーマ展「もっと! あっちこっち湿地～自然と歴史をめぐる旅～」           |
| 2023/3/4  | 自然観察会「動物の痕跡をさがそう」                           |
| 2023/3/5  | ミュージアムカレッジ「ウトナイ湖・勇払原野の野鳥と自然」                |
| 2023/3/12   | 特別イベント「クマガラー斉調査2023」                        |
| 2023/3/19   | 子どもワークショップ「巨大すごろくでスリル満点! わたり鳥の旅」            |

## 北海道開拓の村(011-898--2692)

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 10/8～10/9           | 紅葉のむら・宵のたてものライトアップ  |
| 11/12～11/13         | わら細工講習会「ぞうり」        |
| 11/26               | わら細工講習会「わらじ」        |
| 11/27, 11/29, 11/30 | わら細工講習会「しめ縄」        |
| 12/9, 12/10, 12/11  | 布ぞうりづくり             |
| 2023/1/5, 1/6       | 凧づくり                |
| 2023/1/11, 1/12     | 布ぞうりづくり             |
| 2023/1/13, 1/14     | ピンホールカメラづくり         |
| 2023/1/15           | どんど焼き               |
| 2023/1/21           | 学芸員とむらの建物探訪⑤「馬と人」   |
| 2023/2/3            | 年中行事「節分 豆占い」        |
| 2023/3/18           | 学芸員とむらの建物探訪⑥「清酒と醸造」 |

## 北海道立文学館(011-511-7655)

|                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 8/27～10/23     | 特別展「金子みすゞの世界」           |
| 10/29～2023/1/9 | 特別展「歿後10年吉本隆明—廃墟からの出立」  |
| 2023/1/21～3/19 | 特別展「細谷源二と齋藤玄 北方詩としての俳句」 |

## 北海道立近代美術館(011-644-6881)

|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 9/3～11/7 | 常設展 近美コレクション「『北の美のこころ』を携えて/現代ガラスの美」 |
|----------|-------------------------------------|



|                 |   |
|-----------------|---|
| 9/3～10/30       | 特別展「聖徳太子1400年御遠忌記念 国宝・法隆寺展」                       |
| 11/22～2023/1/22 | 特別展「砂澤ビッキ展」                                       |
| 2023/2/11～4/9   | 常設展 近美コレクション「シャガール・イン・プリント/戦時下の北海道美術/この1点を見てほしい。」 |
| 2023/2/11～4/2   | 特別展「サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史」                        |

## 小原道城書道美術館(011-552-2100)

|                |                                 |
|----------------|---------------------------------|
| 8/4～11/30      | 企画展「第28期特別記念展『中国近現代の書画展』」       |
| 10/15          | ギャラリートーク 講師：北海道書道展会員・書創社主宰 瀧野喜星 |
| 11/19          | ギャラリートーク 講師：北海道書道展会員・羊心会主宰 松山朴羊 |
| 12月～2023/3月    | ギャラリートーク 講師：未定                  |
| 12/6～2023/3/31 | 企画展「第29期特別記念展『咸宜園の人々展』(仮称)」     |

## 札幌オリンピックミュージアム(011-631-2000)

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 10/16 | 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング |
| 12/10 | 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング |

## 檜山

## ピリカ旧石器文化館(0137-83-2477)

|            |                  |
|------------|------------------|
| 7/23～11/30 | 企画展「海を渡ったピリカの石器」 |
|------------|------------------|

## 胆振

## 苫小牧市美術博物館(0144-35-2550)

|                 |   |
|-----------------|---|
| 4/29～2023/3/12  | 中庭展示「Vol.18 川上りえ『Yet We Keep Seeking for a Balance 2022』」 |
| 9/17～11/6       | 特別展「壁画《芽の出る音》設置50年記念 谷内六郎展」                               |
| 11/26～2023/1/15 | 企画展「あみゅー大博覧会2022」   |
| 2023/1/28～3/12  | 企画展「生誕100年記念 能登正智展」                                       |

## 仙台藩白老元陣屋資料館(0144-85-2666)

|             |  |
|-------------|--|
| 9/11        | 郷土学習会「館長とまち歩き講座【飛生芸術祭、虎杖浜・社台の屋外写真展】 仙台藩白老元陣屋資料館長 武永真」                  |
| 9/25        | おもてなし・コミュニケーション実践講座1「そもそもボランティアって何?!」北海道開拓の村館長 中島宏一氏                   |
| 10/15～10/30 | 企画展「郷土の歌人 満岡照子」  |
| 10/22       | 展示解説会「文月悠光(詩人、エッセイスト)」   |
| 11/13       | おもてなし・コミュニケーション実践講座2「接遇マナーで好感度アップ!!」<br>マナー講師/フリーアナウンサー 岡部祥子氏          |
| 11/20       | おもてなし・コミュニケーション実践講座3「来館者をもてなすボランティア・コミュニケーションの実際」<br>元北海道医療大学准教授 長谷川聡氏 |
| 11/27       | おもてなし・コミュニケーション実践講座4「博物館施設におけるガイドの楽しみ」<br>元苫小牧駒澤大学教授 岡田路明氏             |

## 国立アイヌ民族博物館(0144-82-3914)

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 9/17～11/20               | 第5回特別展示「イコロ ウエカリレーアイヌ資料をコレクションするー」           |
| 10/1                     | 講演会「海外アイヌ・コレクションから見えること」                     |
| 10/8, 10/23, 11/3, 11/19 | ギャラリートーク「第5回特別展示『イコロ ウエカリレーアイヌ資料をコレクションするー』」 |
| 10/15, 11/12             | ワークショップ「バックヤードツアー(仮)」                        |
| 11/5                     | シンポジウム「アイヌ資料をコレクションすることを考える(仮)」              |

## 日高

## 平取町立二風谷アイヌ文化博物館(01457-2-2892)

|           |   |
|-----------|---|
| 10/4～12/4 | 特別展「北海道における近代の学校とアイヌ民族 ―沙流川流域を中心に―」                                     |
| 10/29     | 特別展関連講座「『国立旧土人小学校』の設置 ―平取尋常小学校・二風谷尋常小学校を例に」<br>*往時使われた用語を『』でくくって示しています。 |
| 11/12     | 特別展関連講座「平取発 ～現代『アイヌ学習』の誕生～」   |

## 上川

## 旭川市博物館(0166-69-2004)

|            |                  |
|------------|------------------|
| 11/3~12/11 | 企画展「アイヌの宝」       |
| 11/3       | イベント「アイヌ文化に親しむ日」 |

## 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館(0166-46-6277)

|                 |                                  |
|-----------------|----------------------------------|
| 9/6~10/16       | 企画展「チェアーズギャラリーⅠ期(ステーションギャラリー・仮)」 |
| 9/9~2023/2/5    | 企画展「生誕100年藤川叢三展(本館・仮)」           |
| 10/8            | 講演会「中原悌二郎賞創設50周年記念講演会」           |
| 10/22~11/13     | 企画展「大学生作品展2022(ステーションギャラリー・仮)」   |
| 11/19~2023/1/15 | 企画展「生誕100年藤川叢三展(ステーションギャラリー・仮)」  |
| 2023/1/21~3/12  | 企画展「チェアーズギャラリーⅡ期(ステーションギャラリー・仮)」 |

## 北海道立旭川美術館(0166-25-2577)

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 9/17~11/27               | 特別展「開館40周年記念 世界が絶賛した浮世絵師 北斎展 一師とその弟子たち」 |
| 9/23, 10/15, 11/4, 11/26 | 解説「30分でわかる!学芸員の見どころ解説」                  |
| 10/7                     | ギャラリートーク「中右瑛氏ギャラリートーク」                  |
| 10/8                     | 講演会「中右瑛氏講演会『北斎 波瀾万丈90年の生涯』」             |
| 10/14, 10/19, 10/27      | ギャラリートーク「マダムケロコと学芸員のギャラリートーク」           |

## 士別市立博物館(0165-22-3320)

|                               |                                      |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| 9/3~11/6                      | 企画展「士別と流行病」                          |
| 10/2, 11/13, 12/11, 2023/1/29 | 主催講座「古文書教室(全4回)」                     |
| 11/5                          | 主催講座「版画ワークショップ(特別企画展関連講座)」           |
| 11/6~11/27                    | 特別企画展「日本版画協会巡回士別展」                   |
| 11/6                          | 主催講座「日本版画協会巡回士別展ギャラリートーク(特別企画展関連講座)」 |
| 12/3                          | 主催講座「昔の手仕事」                          |
| 12/17, 2023/2/11              | 主催講座「冬の自然観察会(全2回)」                   |
| 2023/1/9                      | 主催講座「サイエンスフェスティバル」                   |
| 2023/2/4~3/5                  | 季節の行事展「桃の節句」                         |
| 未定                            | 臨時企画展「道北地区博物館等連絡協議会巡回展」              |

## オホーツク

## 博物館 網走監獄(0152-45-2411)

|            |                                |
|------------|--------------------------------|
| 9/1~12/30  | 企画展「大正・昭和戦前の行刑建築」              |
| 9/10       | 年中行事「十五夜(各地の十五夜展示と秋の味覚の提供)」    |
| 9/18, 9/19 | 特別イベント「二見湖畔神社収穫祭」              |
| 10/2       | 体験講座「竹のメトロノーム作り」               |
| 10/23      | 特別イベント「博物館友の会による重要文化財強化月間イベント」 |
| 11/13      | 体験講座「ヤマブドウ染めのエコバッグ作り」          |
| 12/4       | 体験講座「正月飾りの藁亀作り」                |
| 12/27      | 年中行事「正月準備(鏡餅・繭玉作り)」            |
| 2023/1/7   | 年中行事「七草(七草粥の提供)」               |
| 2023/1/11  | 年中行事「鏡開き(お汁粉の提供)」              |
| 2023/2/3   | 年中行事「節分(厄除けの豆の提供)」             |
| 2023/2/5   | 体験講座「昔ながらの六角凧作り」               |
| 2023/3/3   | 年中行事「雑祭り(桜餅と甘酒の提供)」            |

## 紋別市立博物館(0158-23-4236)

|             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 10/8~10/23  | 特別展「北海道写真協会紋別支部写真展」        |
| 10/16       | 体験教室「子ども考古学体験『火おこし体験』」     |
| 10/19~10/23 | 紋別市民芸術祭                    |
| 10/29~11/27 | 特別展「開館20周年記念事業『竹澤イチローの世界』」 |
| 10/29       | 講演会「アーティスト・トーク『竹澤イチローの世界』」 |
| 11/13       | 体験教室「子ども考古学体験『石器作り体験』」     |
| 12/2~12/11  | 紋別市民美術展                    |
| 12/18       | 講座「博物館講座『ガラス玉を作ろう!』」       |



|                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 2023/1/15      | 体験教室「子ども考古学体験『勾玉作り体験』」  |
| 2023/1/21~2/12 | 企画展「博物館収蔵資料展」           |
| 2023/2/19      | 講座「博物館講座『流水まつりと田中峰雲』」   |
| 2023/3/4~3/26  | 特別展「第18回博物館サークル活動合同作品展」 |
| 2023/3/19      | 講座「博物館講座『紋別コーヒー再現』」     |

**美幌博物館(0152-72-2160)**

|                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 10/2            | イベント「開館記念日記念行事」           |
| ~10/5           | ロビー展「すごい標本!すごい資料!」        |
| 10/8            | 観察会「古梅の森でコケ観察」            |
| 10/22           | 観察会「ポータブル魚道を使ってみよう」       |
| ~10/24          | 特別展「びほろ町4公園の草花図鑑」         |
| 10/28, 10/29    | プチ工房「ラッププレスレット」           |
| 11/2~11/23      | 企画展「交通安全ポスター作文展」          |
| 11/12           | 講演会「世界が注目するシベリア北極圏の旧石器文化」 |
| 11/18, 11/19    | プチ工房「光の箱」                 |
| 12/3~2023/1/15  | 企画展「おひろめコレクション展」          |
| 12/17           | 体験会「夢幻博物館へようこそ」           |
| 12/23, 12/24    | プチ工房「お正月の団子かざり」           |
| 2023/1/13, 1/14 | プチ工房「足が動くウサギ」             |
| 2023/1/28       | イベント「みどりの村雪の遊び広場記念行事」     |
| 2023/2/4~3/5    | 企画展「冬季作品展」                |
| 2023/2/11~3/3   | ロビー展「ひなまつりとひな人形」          |
| 2023/2/17, 2/18 | プチ工房「影絵シアター」              |
| 2023/3/17, 3/18 | プチ工房「プラバンアクセサリー」          |
| 2023/3/25~10/22 | 特別展「カメラが見た!動物たちの素顔」       |
| 2023/3/25       | 講演会「私たちのふるさと情報」           |

**ところ遺跡の森(0152-54-3393)**

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 11/19 | 遺跡の森考古学公開講座「よみがえる古代遺跡 ~トコロチャシ跡遺跡群」 |
| 11/20 | トコロチャシ跡遺跡群現地見学会                    |

**十勝****神田日勝記念美術館(0156-66-1555)**

|                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| 9/23~12/11      | 企画展「加藤かおり展 紙一折る・ひらく」          |
| 9/23            | 講演会「加藤かおり展 オープニング・イベント」       |
| 10/4~10/11      | 絵画コンクール「第28回 馬の絵作品展」          |
| 12/8            | 講演会「第20回 日勝祭」                 |
| 12/14~2023/4上旬  | 収蔵品展「コレクション展II 日勝が駆け抜けた時代」    |
| 12/24~2023/2/18 | ワークショップ「アート・キッズ・クラブ(小学生対象)」   |
| 2023/1上旬        | ワークショップ「冬休み子どもワークショップ(小学生対象)」 |

**釧路****釧路市立博物館(0154-41-5809)**

|                 |                                    |
|-----------------|------------------------------------|
| 7/9~10/16       | 企画展「湿原の王国・釧路」                      |
| 9/17~10/29      | 企画展「北の縄文展 in 釧路」                   |
| 10/9            | 体験講座「第33回博物館まつり」                   |
| 10/15           | 講演会「縄文セミナー in 釧路」                  |
| 10/16, 11/20    | 観察会「春採湖畔探鳥会」                       |
| 10/22~2023/1/22 | 企画展「リムセヤン・ウポボヤン ~受け継がれる道東アイヌの歌と踊り」 |
| 10/22, 11/20    | 講演会「十條・日本製紙釧路工場の話聞く会」              |
| 11/5            | 体験講座「アイヌ木彫り体験講座『木刀模様彫刻』」           |
| 12月末(予定)        | 体験講座「おそなえもちをつくらう」                  |
| 2023/1/21~4/9   | 企画展「最後の石炭列車 ~釧路臨港鉄道(仮)」            |
| 2023/1/28~2/26  | 巡回展「第28回タンチョウイラスト展」                |

|                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 2023/2/12         | 講演会「石炭列車の話を聞く会」      |
| 2023/2/18 or 2/25 | 観察会「冬のいきもの観察会」       |
| 2023/3/4~4/16     | 巡回展「タンチョウレスキュー展」     |
| 2023/3/12         | 上映会「映像で見る太平洋炭鉱と石炭列車」 |

## 北海道立釧路芸術館(0154-23-2381)

|                      |  |
|----------------------|--|
| 9/17~11/23           | 祈りの造形 地域の記憶 厚岸・国泰寺の200年                    |
| 11/2, 11/9, 11/16    | 大人の家庭科&お気軽アート教室 ※各日内容が異なります。               |
| 11/3                 | ミュージアムコンサート「霜月に寄せる ~國澤秀一・箏の世界」             |
| 11/9~11/23           | 毛織穀曠ミニ展示2022 「北国の憂鬱」の世界                    |
| 11/12                | 道立芸術館&市立美術館 めぐる×つくる2022 毛織建築とアート展をめぐるバスツアー |
| 11/19                | アートシネマ館「ハニーボーイ」                            |
| 12/17~2023/4/9       | アートに耳をかたむけて 絵画と彫刻から聞こえる「音」                 |
| 12/17~2023/4/9       | 同時開催 追悼 彫刻家・中江紀洋                           |
| 12/17                | アートシネマ館「ムーミン谷とウィンターワンダーランド」                |
| 12/24~2023/1/15      | 冬のキッズ・アトリエ                                 |
| 2023/1/21            | アートシネマ館「わたしの叔父さん」                          |
| 2023/2/25            | アートシネマ館「海よりもまだ深く」                          |
| 2023/3/4, 3/11, 3/18 | 大人の寺子屋 一びじゅつの時間 ※各日内容が異なります。               |

## 釧路市子ども遊学館(0154-32-0122)

|                    |                                      |
|--------------------|--------------------------------------|
| 10/8~10/10         | 企画展「遊びんピック2022『めざせ! ガッ釣りマスター』」       |
| 10/16, 11/8, 11/19 | 普及行事「天体観測『星空キャラバン』」                  |
| 10/20              | 普及行事「元氣いっぱい☆親子体操」                    |
| 11/3               | 企画展「サイエンス屋台村」                        |
| 11/26~12/25        | 企画展「クリスマスイルミネーション」                   |
| 12/17, 12/18       | ワークショップ「クリスマス・スペシャル」                 |
| 2023/1/4~1/15      | 企画展「冬休みイベント」                         |
| 2023/1/8           | 企画展「ジオ・フェスティバル」                      |
| 2023/1/8           | 普及行事「太陽観測会『太陽の素顔を探れ!』」               |
| 2023/1/21, 1/22    | 普及行事「教育大学のお兄さん・お姉さんがサイエンスショーにやってくる!」 |
| 2023/2/25, 2/26    | ワークショップ「ひなまつりスペシャル」                  |

## 厚岸町海事記念館(0153-52-4040)

|             |         |
|-------------|---------|
| 10/8~10/23  | 海の作品展   |
| 10/29~11/19 | 宇宙の日作品展 |

## 事務局からのお知らせ

## ■会費納入のお願い

当協会の活動は会員の皆様の負担金(会費)で運営されています。年会費は、団体会員15,000円、賛助会員20,000円、個人会員3,000円です。今年度分会費を未納の方は、以下の口座までお願いいたします(振込手数料はご負担くださいますようお願い致します)。

【銀行口座：北洋銀行厚別中央支店 (普)0287000 北海道博物館協会会長 石森秀三】

【郵便振込口座：02770-2-29419 北海道博物館協会】

■4月から、高野風音さん(北海学園大学/4年生)に臨時職員として事務局の仕事を担っていただいております。

■北海道博物館協会ホームページ <http://www.hkma.jp/>

■学芸職員部会ホームページ「集まれ!北海道の学芸員」 <http://www.hk-curators.jp/>

## 道博協ニュース第131号

発行日 2022年9月30日

発行者 北海道博物館協会

## 北海道博物館協会事務局

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 北海道博物館内

電話：011-898-0456

メールアドレス：dohakukyo.jimukyoku@gmail.com